

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	宗教と社会		
担当者(Instructors)	宇田川 千帆	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>本授業の目的は、宗教がなぜ社会に存在するのか、宗教と社会はどのように関係しているのかということ、日本とインドの神話を通して、自分で探求することにある。今年度は、前半に日本の『古事記』について学び、2024年6月23日に行われる神社検定初級（オンライン受験）を目指す。後半は、インド神話の一つである『バガヴァッド・ギーター』について学び、日本とインドの神話を通して、宗教と社会の関係性を探求する。自分の国の文化に精通する神社検定資格（検定料は別途必要）を取得することができ、神話の頂点とされるインド神話についても知る機会となる。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	<p>授業は、対面授業とオンライン授業を半々で行う。グループワークを行い、そのグループで発表をしてもらう。各回に神話の内容を一つ習得し、その内容を、自他ともに楽しく覚えることができるように、グループで次の回に発表してもらう。授業・グループ発表・小テストをセットとし、神話の内容をしっかりと把握し、神社検定や期末テストへの習熟に役立てる。</p>

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業の説明と発表グループづくり	授業がどのような内容で、どのように行われるかを説明する。グループ毎に課された神話の内容（前半は古事記1章ずつ）を発表してもらうため、そのためのグループ作り、グループミーティング。発表する章を決める。	<input type="checkbox"/>
第2回	「第1章 天地初めて発けし時」を読む	「神社検定」副読本 マンガならわかる！『古事記』（扶桑社）の第1章を解説。グループワークと発表（時系列で話の内容を口伝できるように、グループ内の脳を協力的に合わせる。次回発表グループは担当決め等）。	<input type="checkbox"/>
第3回	グループ発表「第1章 天地初めて発けし時」	発表では、時系列に物語がわかりやすく発表されているか。重要な用語が使用されているかが評価のポイントになる。発表後に、理解度を確認するための小テストを行う。	<input type="checkbox"/>
第4回	「第2章 天岩屋戸」を読む	詳細は第2回と同じ。	<input type="checkbox"/>
第5回	グループ発表「第2章 天岩屋戸」	詳細は第3回と同じ。	<input type="checkbox"/>
第6回	「第3章 宝剣あらわる」を読む	詳細は第2回と同じ。	<input type="checkbox"/>
第7回	グループ発表「第3章 宝剣あらわる」	詳細は第3回と同じ。	<input type="checkbox"/>
第8回	「第4章 国譲り」を読む	詳細は第2回と同じ。	<input type="checkbox"/>
第9回	グループ発表「第4章 国譲り」	詳細は第3回と同じ。	<input type="checkbox"/>
第10回	「第5章 天孫降臨」を読む	詳細は第2回と同じ。	<input type="checkbox"/>
第11回	「グループ発表 第5章 天孫降臨」と中間テスト	詳細は第3回と同じ。6月23日の神社検定初級オンライン受験に向けて（受験しない人も、中間テストになる）、第1章から5章までの確認テストを行う。本テキストで行う初級検定は初めてになるため、自主学習必要。	<input type="checkbox"/>
第12回	ゲストスピーカーによる講演（スピーカー未定）	本授業では、宗教と社会を通して自身のこれからの人生を考え、そのヒントになるものを得ることが期待される。宗教とは直接関係のない講演であっても、すべてを自身の内なる省察に活かすことが推奨される。	<input type="checkbox"/>
第13回	「バガヴァッド・ギーター」を読む	第12章バクティ・ヨーガ（信愛、もしくは帰依の道）の解説。グループワークとグループミーティング。発表の順番を決める。	<input type="checkbox"/>
第14回	「グループ発表（3グループ）第12章について」	3つのグループに「バガヴァッド・ギーター」第12章について発表してもらう。	<input type="checkbox"/>

第15回	「グループ発表 (2グループ) 2日目 第12章についてとまとめ」	神話のもつ意義を考え、それらをこれからの人生にどのように活かしていくかを考え、全授業を振り返る。全グループ発表を通じて考えたことをディスカッションする。	□
------	--------------------------------------	--	---

■授業時間外学習 (予習・復習) の内容(Preparation/review details)

本授業のテキストは容易なものを使用するため、第1回目の授業が始まる前までに『マンガならわかる！古事記』の第5章まで通読する。バガヴァッド・ギーターについてはプリントにて配布する。また、次の授業で行われる章を読み返し、わからない部分は、他の文献をあたるか、インターネット (推奨しないが可) 等で調べておく (毎週2時間)。授業後にグループ発表のための準備を個人・グループでする (毎週2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・グループ発表は、全体の発表が終わってからまとめてフィードバックし、全体で共有します。・小テストを含む筆記試験は、解説とともに解答例を提示し、採点の上で返却します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	日本神話の『古事記』や、インドの『バガヴァッド・ギーター』について、自分の言葉でどのようなものを表現することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		40%		60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他の60%は、中間テストとして、神社検定前の確認テストの40%と、授業参加・貢献度を20%とする。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「神社検定」副読本 「マンガならわかる！『古事記』」扶桑社	978-4-594-09659-5
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	阪本是丸・石井研士編「プレステップ 神道学」弘文堂	978-4-335-00079-9
2	倉野憲司校注「古事記」岩波文庫	10-4003000110
3	上村勝彦訳「バガヴァッド・ギーター」岩波文庫	10-4003206819
4		
5		